

キラリと光るダイセル製品のお得情報が満載！  
キラきら情報通信@ダイセル

新登場

耐溶剤型キラルカラム

CHIRALPAK® IJ

NEW!



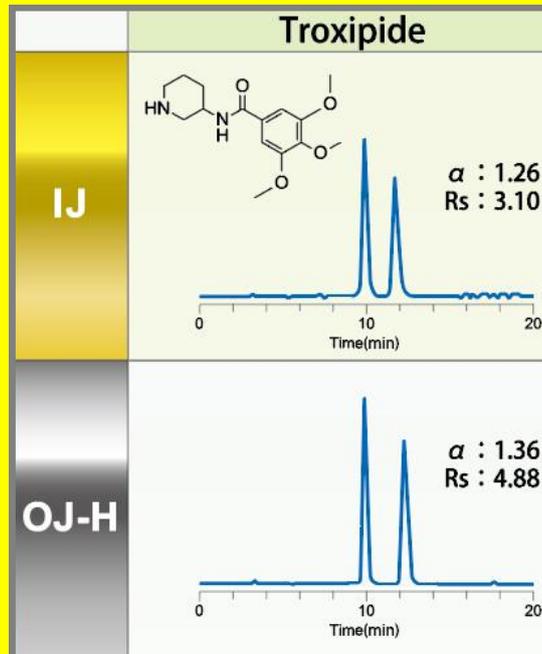
コーティング型カラム (OJタイプ) の分離特性を  
維持した耐溶剤型キラルカラムが  
遂に登場！

CHIRALPAK® IJ  
待っていました！

レンタルカラムも  
準備しております。

chiral@jp.daicel.com

へ、お問い合わせお待ちしております！



CHIRALPAK® IJ の詳細はこちらから▶▶

<https://www.daicelchiral.com/column/chiral-hplc/solvent-resistant/67.html>

CHIRALPAK® IJ リーフレットはこちらから▶▶

<https://www.daicelchiral.com/img/mainpage/column/pdf/chiralpak-ij.pdf>

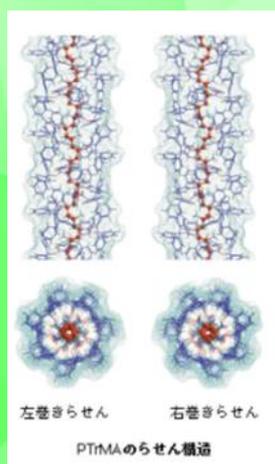
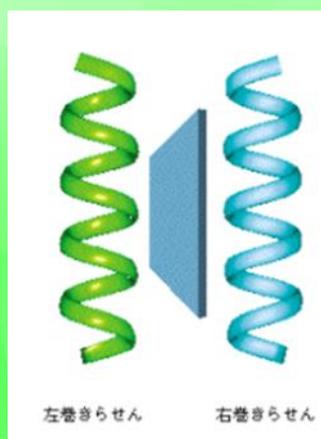


## ダイセル社員が溺愛！ 私の好きなダイセルカラム

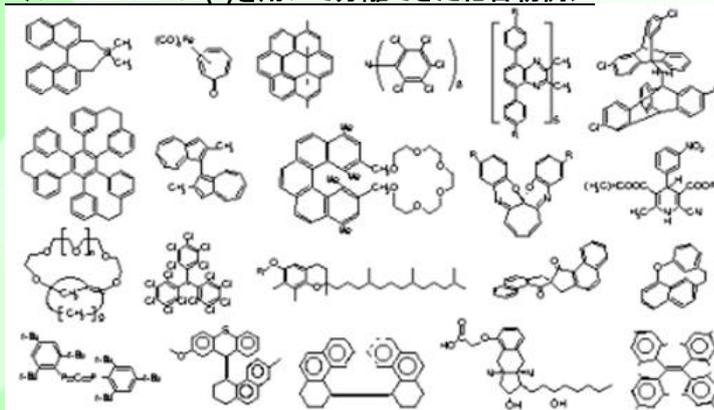
### 最初のキラルカラム CHIRALPAK® OT(+)

開発営業部 Oさん編

ご存じ無い方が多いと思いますが、光学異性体分離カラムとして最初に当社が販売したカラムが **CHIRALPAK® OT(+)** です。このカラムのキラルセクターは非常にユニークで、**側鎖に不斉中心がなく分子全体が一方向巻のらせん構造をとる分子不斉なポリマー**です。キラル分離では3点識別モデルが提唱されていますが、このらせんポリマーでアミノ酸誘導体の様な不斉炭素を持つ化合物を分けることができる点がとても面白いですよ。下記に分離できた化合物例を示しますが、どこが不斉？と思うような分子不斉な化合物を良く分離することができます。



#### <CHIRALPAK® OT(+) を用いて分離できた化合物例>

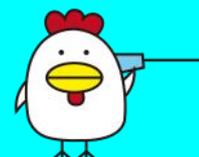


しかしCHIRALPAK® OT(+)**は側鎖がトリチル基のため加水分解を受けやすい・・・**、という欠点がありました。そこでこの改良版として、ピリジル基を導入したCHIRALPAK® OP(+)**が誕生**しました。不斉中心を持つ化合物分離にはあまり使われなくなってきたカラムですが、**超分子のトポロジカルキラリティ**ではまた活躍できるのでは！と期待しております。皆さん、不斉中心の無い化合物にはCHIRALPAK® OP(+)**をぜひお試しください！**  
(尚、私は学生時代に、このカラムの研究の一旦を担わしていただいております。)

# 募集

皆様も「これがイチオシ！」「あんなことがあったわー」  
「あのカラムとの思い出」など、思い入れのあるカラムが  
ございましたら、ぜひ**キラキラ情報通信で紹介**させてください！

[chiral@jp.daicel.com](mailto:chiral@jp.daicel.com) 「私の好きなダイセルカラム」宛



発行元: 株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

TEL: 03-6711-8222 FAX: 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

TEL: 06-7639-7221 FAX: 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル: 0120-780-104

HP: <https://www.daicelchiral.com/>